

パネルディスカッション

コーディネーターを木下先生にお願いし、8名のパネリスト（地域別勉強会の7地域の代表と行政の代表）から、勉強会に参加した感想や各地域でこれまで議論してきた内容についてお話を伺い、意見交換を行いました。

【要 旨】

まず、勉強会に参加した感想では、これまでに5回勉強会を開催してきたのですが、あと10年の計画を考えるには時間が足らなかったとの話がありました。

また、これまでに話されてきた議論について、次のような意見がありました。

- ・ 水元地域では、これからまちづくりが進んで住みよいまちになるが、幹線道路などの整備促進や、キャサリン台風による水害体験から、水害対策に一番力を入れてほしいとの話がありました。
- ・ 金町・新宿地域では、三菱製紙跡地と金町駅前周辺の開発・まちづくり、新金線の利用についてのテーマに絞った意見が多く出され、三菱製紙跡地に理科大が来ることから、アクセス道路など利便性と安全性の高い道路を考える必要があるとの話がありました。
- ・ 柴又・高砂地域からは、鉄道立体化や駅周辺の街づくりの進展により、今後魅力の増す高砂と、柴又帝釈天を中心とした観光資源を有する柴又が連携することにより賑わいと活気に満ちたまちにしていきたいとの話がありました。
- ・ 亀有・青戸地域からは、アニメキャラクターを観光資源とした話や、慈恵医大病院の建て替えに合わせた周辺地域の整備、中川や曳舟川親水公園を地域の景観資源として今まで以上に生かす工夫が必要との話がありました。
- ・ 南綾瀬、お花茶屋、堀切地域の堀切地区では、細街路や京成本線の荒川橋梁架け替え問題を契機としたまちづくりなどの勉強会に熱心な地域で、災害復興計画にも取り組んでいるとの話や、お花茶屋地区では駅周辺の自転車問題、小菅地区では回遊性のある遊歩道の整備など、人を呼び込む動線の必要性などを話し合われたと報告されました。
- ・ 立石・四つ木地域では、毎回、立石の再開発の是非についての意見が出されたことや、工場跡地のマンション住民との地域コミュニティ強化、高齢者と地域のかかわり方などソフト面を含めた議論が行われたとの報告がありました。
- ・ 奥戸、新小岩地域では、水に対しての心配が一番で、災害に対する安全対策の強化についての意見が多く出ていたことや、新小岩は区のはずれであるが利便性が高い地域であることや、新金線の活用について様々な意見があったとの報告がありました。

【会場からの意見・質問】

- ・ 会場の展示コーナーでは、都市幹線道路や都市計画道路の整備促進や農地や緑を守る。中川の桜堤の再生、青砥駅前では駅前広場と駐輪対策が必要などの意見がありました。
- ・ 会場からは、補助 274 号線に関わる現行の都市マスと今回の資料との記述の違いについての質問や、再開発事業に対し、区は中立の立場をとるべきといった意見などが出されました。

【これからのまちづくりについて】

最後に、木下先生から、まだまだ議論は足りないと思われるが、対話を重ねていくことが必要であり、さまざまな意見の対立などを乗り越えながら、より良い展開をさらに進めて言ってほしいと結ばれました。